

最上川上流 水防災意識社会再構築ビジョンの取組

H28.8版

■防災教育

50年前の羽越水害等を示し、「洪水氾濫の発生を前提とした行動の必要性」、「洪水時は避難することが重要」であることを意識付け、水害への備えの実施を推進。各自治体を巡回する形で実施中。

□これまでの実施状況

平成28年6月23日 南陽市梨郷地区防災協議会_50人
平成28年7月3日 山辺町大門地区合同防災訓練_90人
平成28年7月1日 天童市水防協議会_30人
平成28年7月6日 河北町民生委員協議会_50人
平成28年8月2日 山形市水防協議会_40人

□主な意見

- ・河川防災情報の入手方法、避難の心構えなど、職務を進めていくうえで知っておくべき事が多くあり、大変有意義であった。 [河北町民生委員協議会]
- ・住民に避難を促す立場として、河川防災の基礎知識を聞ける貴重な場であった。 [南陽市梨郷地区長]
- ・羽越水害50年を契機に水防災意識を地区民に根付かせたい。内水も踏まえて地区毎に具体の避難ルートを確認したい。 [山辺町大門地区長]



南陽市梨郷地区防災協議会



山辺町大門地区合同防災訓練